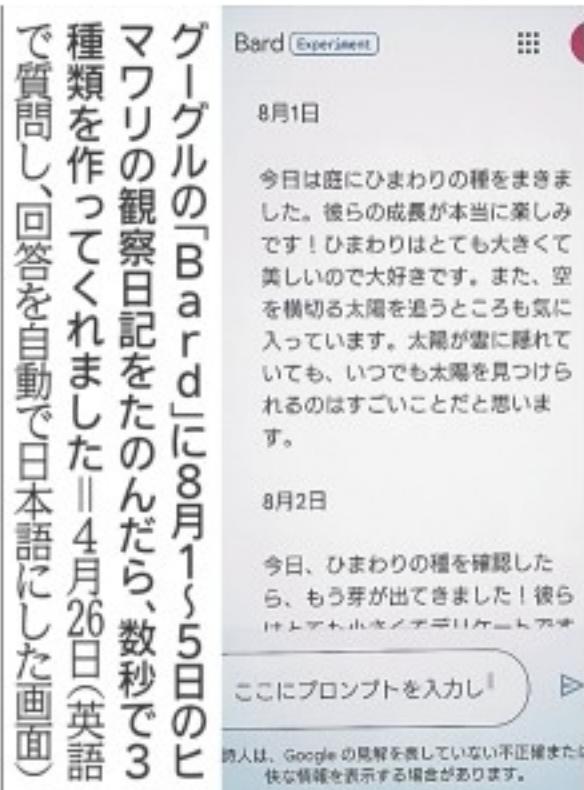




人工知能（AI）を使ったソフト「チャットGPT」が世界で注目されています。質問や相談を投げかけると、すぐに人間のように自然な答えを返してくれるため、多くの人々が利用し始めました。インターネットの使い方や仕事の仕方を変えるのではないかと

注目されるチャットGPT



「チャットGPT」とは？

- アメリカの会社「オープンAI」がつくり、昨年11月にインターネットで公開
- 利用者の質問に人工知能（AI）がネット上の情報を使って、自然な会話のようにすばやく答える
- まちがった答えを、まるで本当であるかのように返す欠点もある



「チャットGPT」の入り口の画面（手前）と「オープンAI」のロゴマーク＝4月

できることの例

- 質問への回答や提案
- 別の言語へ訳すこと
- 難しい計算やプログラミング
- 詩や小説の作成

10歳の誕生日パーティーのアイデアは？

10歳の誕生日パーティーには、次のようなアイデアがあります。

- カラオケパーティー：友達と一緒に歌って楽しむことができます。
- 美術教室：絵を描いたり、手芸をすることで、自分のクリエイティブな才能を伸ばすことができます。
- キャンドル作り：自分だけのデザインのキャンドルを作って、みんなで楽しむことができます。

「チャットGPT」の回答の画面

と期待される一方、悪い影響を心配する声も出ています。パソコンやスマートフォンで、例えば「トマトはなぜ赤いの？」とたずねると、「リコピン」という赤い色素がふくまれているからです。リコピンは健康にもいいとされています」などと、すぐにきちん

とした文章で答えてくれます。詩や短い小説を、あつという間に上手に書くこともできます。チャットGPTは、インターネットにあるたくさんの情報を学習することで、さまざまな質問に対する答えを自分で生み出せるようにつくられています。これまでも質

問に答えてくれるソフトはありましたが、チャットGPTは会話の自然さや知識のレベルがものすごく向上しています。言葉を学ぶ能力も高いです。

質問に何でも答えてくれるため、チャットGPTにたよると、人が自分で考える力が弱くなるという不安もあります。アメリカのニューヨークやロサンゼルスなどの公立学校は利用を禁じました。日本の学校でどうあつかうべきか、文部科学省が検討するそうです。

チャットGPTの回答が正しいとは限りません。ソフトをつくった会社「オープンAI」も、まちがうことがあると認めています。答えを信じすぎると危険です。差別や暴力につながる会話には答えられないようになっていさえますが、ふせぎきれません。オープンAIは改良し続けると言っているものの、安全性を求める声が高まっています。

ネットの使い方 変わる可能性

「チャットGPT」が話題になったことで、他の会社でも同じようなソフトをつくる動きが急速に進んでいます。

インターネットの検索サイトで有名なグーグルは、「Bard」というソフトをつくりました。チャットGPTと同じく人工知能（AI）を使って質問に答えてくれます。検索サイトにもBardの機能を取り入れることを計画しています。

パソコンを動かす基本ソフトで知られるマイクロソフトは、チャットGPTをつくった「オープンAI」と協力して、検索サイトの「Bing」にAI機能を

日本の自治体で初めてチャットGPTを仕事に使い始めた神奈川県横須賀市で、画面を見る職員。約1カ月間、ためしに使います＝4月20日



乗せました。やはり会話するように答えてくれます。

今までの検索では、いくつかのサイトで情報を探し回ることがよくありました。AIが答えてくれるようになると、その必要がなくなります。AIの答えが正しいとは限りませんが、ネットの使い方が変わる可能性もありそうです。

さらにくわしく

